



2022年7月21日

株式会社 阿波銀行

株式会社徳島アイ調剤薬局の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社徳島アイ調剤薬局（代表取締役 山崎 英樹、本社：徳島県美馬市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社徳島アイ調剤薬局
所在地	徳島県美馬市脇町大字北庄 1227 番地 2
代表者	山崎 英樹
業種	医薬品小売業
設立	2007年2月13日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月21日



株式会社徳島アイ調剤薬局 代表取締役 山崎 英樹

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	従業員の ウェルビーイングの 向上	心身共に健康で、働きがいをも って働けるよう、社員の 健康の維持に努めるとともに、 持続可能な働き方の実現を サポートします。	① ストレスチェックの実施	
			② ストレスチェックの実施率100%	
環境・ 経済	省エネ・ 温室効果ガスの 排出削減	CO2排出抑制のために、 エネルギー使用量の把握に 努め、さらなる省エネ・節電を 推進します。	① LED化の推進	
			② 2025年度までに導入率100%	
社会	情報漏えいの 防止	各種機密情報の保護の 従業性を従業員全員が 認識し、情報漏えい防止に 努めます。	① 顧客情報取り扱いに関するマニュアルの制定	
			② 2023年度までに社内マニュアルを作成し、 社員全員へ配布	
環境・ 社会・ 経済	災害・事故・ 事業リスクの 未然防止	災害や事故等の有事に おいても、事業を復旧・ 継続するため、対応し得る 万全の準備を行います。	① 事業継続計画(BCP)の策定	
			② 2023年度までに策定したBCPを 社員全員へ周知	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。